

人間関係論

単位数	履修方法	配当年次
1	S	1年以上



科目コード **FC2689** 担当教員 **山口奈緒美**

■スクーリングで学んでほしいこと

この講義を通して、人間関係の端緒、深化、崩壊に関する要因と理論を、自分で説明できるようになるとよいと思います。また、人間関係を悪化させてしまう誰しもが有する認知的なゆがみについてを理解し、この観点から、自分の人間関係を分析できるようになっていただきたいと思います。

■到達目標

- 1) 人間関係の維持や崩壊に関する理論をあげ、それぞれについて違いに留意しながら説明することができる。
- 2) 他者からの拒絶について、拒絶されても反社会的にならずにすむメカニズムを説明することができる。
- 3) 人間関係にかかわる様々な認知バイアスをあげ、それらを説明することができる。
- 4) 人間関係に関する諸理論やそれらにかかわる要因を理解し、それらを用いて現実の人間関係を分析し、問題を解決できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	人間関係の時系列的視点①	人間関係の始まり
2	人間関係の時系列的視点②	人間関係の維持
3	人間関係の時系列的視点③	人間関係の崩壊、対人葛藤の原因と解決
4	人とのかかわり①	受容と拒絶
5	人とのかかわり②	拒絶感受性
6	人とのかかわり③	ソーシャルサポート
7	人間関係にかかわる多様なバイアス	人間関係をゆがめるバイアス
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義はパワーポイントを用いて進めます。受講者には講義で用いるスライドにもとづいて作成された資料をお配りします。

この資料は、受講者が適宜工夫して記入し、受講者オリジナルのノートとして作成しやすいように作ら

れています。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験（100%：配付資料と自筆のノートのみ持込可。図書類は持込不可）

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

人間関係がどのように始まり、深まり、維持されているか、あるいは崩壊してしまうかについて、ご自分の人間関係を見直してみてください。また、自分が日頃、他者を受容したり拒絶したりしているかどうか、分析してみてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

自分の人間関係について考察する際、講義で紹介したさまざまな実験のように、どの事柄が人間関係に影響を及ぼしているか、あるいは及ぼしていないのか、明確に区別できるように現実の分析力を高めてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」、「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。

■参考図書

藤森立男編著『人間関係の心理パースペクティブ』誠信書房、2010年

奥田秀宇著『人をひきつける心 対人魅力の社会心理学』サイエンス社、2008年

浦 光博著『排斥と受容の行動科学 社会と心が作り出す孤立』サイエンス社、2009年